

## 早めの検診で「がん」は治せる!

がん検診は、加入している医療保険に関係なく、市内に住民票を有し、規定の年齢に該当すれば受けることができます。受診対象となる人には、毎年5月上旬に「がん検診通知書」を送付しています。

また、平戸市では総合健(検)診として、国民健康保険に加入している人を対象に特定健康診査も実施しており、がん検診と一緒に受診できます。



平戸市がん検診通知書

### 平成27年度平戸市がん検診料金表

検診種別	対象者 ※平戸市内に住民票を有し、平成27年度内に下記の年齢に到達する人	備考	
		集団検診	個別検診
大腸がん検診	40歳以上の人	500円	500円
胃がん検診	40歳以上の人	900円	1,000円
胃がんリスク検診	40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳・75歳の人	実施なし	1,500円
肺がん検診	肺がん検診：40歳以上の人	100円	200円
	喀痰検査：40歳以上であり、喫煙歴など一定の条件に該当する人	500円	500円
前立腺がん検診	40歳以上の男性	1,500円	1,500円
子宮頸がん検診	20歳以上であり、かつ偶数年齢に到達する女性	600円	700円
乳がん検診	40歳以上であり、かつ偶数年齢に到達する女性	500円	1,000円
肝炎ウイルス検診	40歳から70歳までの人 ※ただし、過去に肝炎ウイルス検診を受診していないこと	200円	200円

集団検診：5月～8月 地区の集会所などを会場に実施する(予約の必要はありません)

個別検診：9月～11月 医療機関で個別に受診する(医療機関によっては予約が必要となります)

## 二種混合(ジフテリア・破傷風)の予防接種

二種混合とはジフテリアと破傷風の2つの病気を予防するワクチンです。対象のお子さんは、夏休み期間に接種することをおすすめします。

**ジフテリア**・・・ジフテリア菌の感染によって鼻や喉が侵され、犬がほえるような咳をしたり、呼吸困難などの症状が出る場合があります。菌が出す毒素によって、心筋障害や神経麻痺などを起こすこともあります。

**破傷風**・・・破傷風菌は土の中に潜んでいて傷口から感染します。菌が出す毒素のために口が開かなくなったり、けいれんを起こしたり、死亡することもあります。自然に免疫ができることはないので予防接種が重要です。

【対象者】 小学校6年生

【接種費用】 無料(母子健康手帳を持参してください)

【医療機関】 市内医療機関(3日前までに予約が必要です)

健康・福祉  
いきいき通信

health and welfare information

vol.61



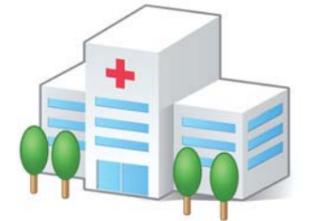
## 早期発見・早期治療のため 「がん検診」を受診しましょう!

「自覚症状がないから大丈夫」という思い込み、「がん」と告知されるのが怖い」という恐怖感など、さまざまな理由でがん検診を受けていない人も多いのではないのでしょうか。

昭和56年以降、日本人の死亡原因の第1位はがんであり、平成25年には全国で約36万人が亡くなっています。また、一生のうちに2人に1人がかかる、まさに国民病です。がんについて考え、早いうちから予防に努めることが大切です。

平戸市では、職場検診や人間ドックなどで受診機会がない人を対象に、毎年、がん検診を実施しています。

■お問い合わせ 保健センター健康づくり推進班 ☎57-0977



## なぜ「がん」は発症するのか?



私達の体は約60兆個の細胞から構成されています。この膨大な数の細胞は、日々、新陳代謝を繰り返し、新しい細胞と古い細胞が入れ替わることで一定に保たれています。

この過程において、さまざまな要因が基で、いわば細胞のミスコピーが起きることがあります。これががん細胞です。そのほとんどは免疫反応で死滅しますが、生き残ったがん細胞が増え続けると、やがて塊としての「がん」になります。

## 「がん」を防ぐために ～生活習慣の改善(1次予防)・検診の受診(2次予防)～

がんを予防するために、まず食生活や運動など生活習慣の改善が大切です。これを1次予防と言います。特に喫煙は肺がんをはじめ、さまざまながんの原因であることが科学的に示されています。

この1次予防により、がんのリスクは軽減できますが、すべてを防げるわけではありません。そこで、検診の受診が2次予防として位置づけられています。がんは自覚症状なく進行します。健康に自信があり検診を受ける必要がないと感じている人も多いようですが、むしろ検診は自覚症状がない段階で受けることが大変重要です。検診の目的は、がんの疑いがある人を早期に発見し、医療機関での早期治療につなげることにあります。

